



Best Life Promotion

BLPニューズレター



Vol. 15 2019年2月20日発行

2023年の「データヘルス計画第2期」・「特定健診保健指導第3期」の評価に向けて市場は、今後拡大していくと考えます。

当社は、その中でお客様のニーズを確実にキャッチアップしなければ市場から取り残されてしまいます。一方で確実に波を捕らえることが出来れば大きな飛躍のチャンスとなります。

しかし、このような拡大の波が来ている時こそ波にのるだけでなく、真理はなにかを考え、「お客様から言われたことだけをやれば良いのか」、「対応できる体制は、いつからいつまで必要なのか」、「もっと効率的に高い品質が提供できないか」、そしてなによりも「お客様の望まれる成果がお客様へ届けられているのか」を重点に活動すべきであり、全ての疑問とそれを解決する行動が重要と考えます。

また、社会の「ICT/IOTの活用」、「AIの活用」といった動きは益々拡大すると思いますが、それだけではサービスならず、一方で全てを人が対応するのにも限界があります。

社員一人ひとり、お客様の望まれる成果を実現するために、今一度、自立し、お客様から評価されるサービスを様々な仕組みを駆使して創造していきます。

これらの取組みは、弊社ならびに社員の更なる成長に繋がるものと確信しております。

弊社は、富士通が提供するICT/IOTを活用した『健康サービスの会社』として、「富士通グループが健康サービスに取り組む会社として社会的に認知される」ことに貢献いたしたく、活動を推進してまいります。

2019年2月

代表取締役社長 齋藤 稔



■ 健康ワンポイント情報 ～健康スコアリングレポートの提供はじまる～

従業員の健康管理を組織戦略に則って展開していく「健康経営」が注目される中、企業と健保組合が一体となって従業員の健康づくりを推進していく「コラボヘルス」が重要視されています。この推進ツールのひとつとして、2018年度から「健康スコアリングレポート」の提供が、厚生労働省・経済産業省と日本健康会議の連携により開始されています。

《健康スコアリングレポートの概要》

- 各健保組合の加入者の健康状態や医療費、予防・健康づくりへの取組状況等について、全健保組合平均や業態平均と比較したデータを見える化
- レセプト(診療報酬明細書)と特定健康診断結果のデータから保険者単位のレポートを作成の上、全健保組合及び国家公務員共済組合に対して通知(健保組合：約1,400、国家公務員共済組合：20)

《健康スコアリングレポートの活用方法》

- 経営者に対し、保険者が自らのデータヘルス分析と併せて、スコアリングレポートの説明を行い、従業員等の健康状況について現状認識を持ってもらうことを想定
- その上で、企業と保険者が問題意識を共有し、経営者のトップダウンによるコラボヘルスの取組の活性化を図る
- レポートと併せて、企業・保険者の担当者向けに、経営者への説明のポイント等、レポートの見方や活用方法等を示した実践的な「活用ガイドライン」を送付

《出カイメージ》



